

# 映画英語アカデミー賞総合評価表 兼 先生が薦める英語学習のための特選映画 原稿執筆共通ルール表

(平成26年10月16日現在 = 最近新しく追加したルールを「赤色」表示しています)

本「ルール表」は連絡なく適時更新されます。執筆前に、本欄にて最新のものをご確認ください。

- 種類の映画につき、1頁 B5サイズで2頁割り当ての統一レイアウトです。
  - ・著者色々ご意見ありましようが『特選映画』『アカデミー賞』共通です、変更できません。
  - ・各枠の項目題名は社会人編の「発展学習」など特定の場合以外は変更できません。(特選のみ)
  - ・各枠の上下にある仕切りラインは原則として移動できません。やむを得ない場合のみ「1行分」のみ増減可能です。それ以上は責任者にご相談ください。
  - ・ただし、左頁が右頁に、右頁が次の頁に、ページを超過し、はみ出すことはできません。
  - ・各枠内は一行の余りも出ないように、必ず、文章等で原稿を執筆ください。
  - ・各枠内のスタイルは執筆者の自由です。図表等などの文章以外の原稿も可能です。
  - ・「スタッフ」で「監督」など、絶対に必要な情報は必ず、調べて原稿にしてください。
  
- 文章スタイルは「です。ます。」調をお願いします。
- 「映画情報」は原則的に、以下を参考に記入してください。

The Internet Movie Database (IMDb) <http://www.imdb.com/>
- 「DVD情報」等は、各販売会社のホームページを参考に記入してください。価格はDVD会社が設定している税込み価格です。Amazon等で販売しているディスカウント価格ではありません。  
(参考) <http://www.vanda.co.jp/>でタイトル検索後、プライスオフ前の価格を採用
- 「薦」にある各学校種別お薦めマーク『●』は該当部分のすべてに『●』印をおつけ下さい。
- 「英語の特徴」にある
  - ・第1回映画英語アカデミー賞時採用の項目「英語その他」は「英語の特徴」に統合されました。
- 「リスニング難易度」とは該当映画のセリフに関する、各項目(易)1→5(難)の点数表示です。
  - ・これまでスクリーンプレイ社が25年以上にわたって表示してきた評価手法を学会も採用しました。
  - ・現在、全9項目に科学的・客観的評価規準はありません。著者の主観によって参考評価ください。
  - ・ただし、できるだけ公平・同一の点数規準とするために、評価点数のモデルが本巻末にあります。
  - ・なお『米国訛』とは、米語を前提として、米国内での地方性、民族性を意味します。
  - ・また『米国外訛』とは、米国からみた『外国』の発声特徴を意味します。英国も外国となります。
- 「セリフの引用」について
  - ・英文表記法では、原則、本文内での引用セリフは、「発声者名」に間を空けずに「:」コロンの「半角スペース」等で、続けて「セリフ」です。  
(一例を示すと右となります。Puss: I do not steal from churches. のように表示します)
  - ・ただし、連続したセリフ表示で、行のセリフ開始位置を揃えたい場合は、上記でも、レイアウト上の印「:」コロンの使用して、各行の左右の位置を揃えても良いです。

Puss: I do not steal from churches.	Puss : I do not steal from churches.
Man 2: The boys' orphanage has .....	Man 2 : The boys' orphanage has .....
Puss: I do not steal from orphans.	Puss : I do not steal from orphans.
- 表現
  - ・頻繁に登場する「アメリカ」は「**米国**」、「イギリス」は「**英国**」と短縮表示します。
  - ・価格表示は、「**DVD 価格**」「**ブルーレイ価格**」「**DVD&ブルーレイ価格**」
  - ・価格表示は、「3,990円(税込)」「4,935円(税込)」(4桁には「,」を)
  - ・「オープニングウィークエンド」ではなく、「**オープニングウィークエンド**」

- ・製作費や興業収入、オープニングウィークは、「000百万ドル」「000万000ドル」
  - ・「公開日」の表示は(日)(米)ではなく、(日本)(米国)
  - ・「公開日」は一般への映画興行開始日のことで、映画祭への出展日ではありません。
  - ・製作費、製作年、製作国、製作監督と、「制」でなく、「製」の文字で統一します。
  - ・「お奨めの理由」ではなく、「お薦めの理由」と表示します。
  - ・「」等内に日本語文章の場合、『、』『。』は原則、文章途中は有りで、最後は無しにします。
- 上記以外に、『ルール』に加えておいた方がよいと思われるご意見があったらご連絡ください。

### リスニング難易度

評価項目	評価規準(参考) 易①→⑤難			趣旨
	タイタニック	フォレストガンプ	ショーシャンクの空に	
Conversation Speed 会話スピード	2	3	3	セリフにおける発声のスピード 通常の会話を『3』とする それより遅いを以下に、早いを以上に
Pronunciation Clarity 発音の明瞭さ	2	3	2	セリフにおける発音の明瞭さ 通常の明瞭さを『3』とする わかりやすいを以下に、にくいを以上に
American Accent 米国訛	2	3	3	米国英語に対する米国内の訛り 標準米国英語を『1』として 訛りが強いにしたがって以上に
Foreign Accent 米国外訛	3	3	3	米国英語を標準としての外国訛り 米語を『1』として(英語も『1』) 他国訛りが強いにしたがって以上に
Vocabulary 語彙	4	3	3	語彙の種類と難易度 JACET8000規準に高校生レベル『3』 易しいを以下に、難しいを以上に
Jargon 専門用語	3	2	4	専門用語の種類と多さ 日常会話レベルを『1』として 専門用語の種類と多さで『5』まで
Jokes ジョーク	2	3	3	英語的ジョークの種類と多さ 日常会話レベルを『1』として ジョークの種類と多さで『5』まで
Slang & Vulgarity スラング	2	2	3	英語的スラングの種類と多さ 日常会話レベルを『1』として スラングの種類と多さで『5』まで
Grammar 文法	3	3	3	英語の文法ルールについて 完全に文法ルール厳守を『1』として 文法違反、難解文法で『5』まで